

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	2 商工業の活力を高める	施策名	② 中小企業の経営・技術革新の促進
------	----------------------------------	----------------	--------------	-----	-------------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H23
					基準年	実績	実績	実績	実績	見込み	H24見通し
◆中小企業の持続的な成長を支えるため、経営・技術革新の促進を支援している。 ◆伝統工芸など地域や暮らしに根付いた技能・技術を保存・継承し、後継者育成や販路拡大への支援をしている。	◆新興国の台頭や経済のグローバル化が進む中、中小企業においては更なる体力強化が喫緊の課題であり、そのような中、施策の重要度は高いが、施策への満足度は低い状況。 ◆景気が先行き不透明である中、高度化設備設置補助を活用した企業が減少し、指標の増加に結びついていない。 ⇒ 事業のPRを積極的に行うなど、更なる支援の促進を図る。	55.6%	高度化設備設置補助制度を活用した企業数		41	42	43	44	45	55.6%	
				40	34	34	24	25	30	66.7%	
課題 ◆景気が先行き不透明である中、中小企業の技術の革新・経営の合理化の意欲を高めるため、企業ニーズを踏まえた中で、商工会議所や商工会と連携を取りながら、有効な手法や事業のPRを検討するとともに、事業内容を見直し、充実した補助制度に取り組む必要がある。 また、生活文化に密着した伝統工芸などの技術の継承・後継者育成が課題である。											
			市民意識調査(重要度・満足度)	重要度	60.1	56.7	60.3	68.2		%	
			満足度	10.5	10.9	8.7	10.5		%		

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
企業と地域社会との連携促進			CSR推進事業は宇都宮CSR推進委員会を中心に、CSRサイトのリニューアルなどの事業推進や宇都宮まちづくり貢献企業認証委員会委員の多分野からの参画により、きめ細かい審査の実施が可能となり、認証企業数が伸びている。	更なる事業のPRにより、認証企業の増加につなげるとともに、ホームページや広報紙を活用した認証企業のPRについても積極的に行い、認証の効果を高めるような取組を実施する。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績	実績			
1	中小企業高度化設備設置補助金	製造業、特定サービス業を業種とする中小企業者	H18	制度活用企業数	件	41	42	43	44	45	A	継続	中小企業からの問い合わせ等が多いことから、少しでも多くの事業所に制度の活用を促すため、周知方法を工夫しながら、事業の継続を図っていく。
						34	34	24	25				
2	CSR推進事業	市内全企業	H19	認証企業数	社	20	25	25	25	25	A	継続	事業の推進については、有識者等からなる外部委員会を主として実施するが、認証の更新時期となることから、委員会の効率的・効果的な運営を実現するため、組織の見直しを実施。市は、引き続き、PR等のサポートについて、積極的に取り組む。
						25	32	29	17				
3	特許権等取得促進事業補助金	産業財産権を出願した市内の中小企業など	H17	補助社数	社	8	8	8	8	8	A	継続	特許権等取得に積極的な企業への支援を続けることにより、産業財産権取得への意欲を喚起させ本市産業の振興に対する貢献が期待できることから、制度周知に努め、今後も継続していく。
						3	12	13	7				
4	宮のものづくり達人事業	優れた技能を有する人々	H14	宮のものづくり達人認定者数	人	10	10	10	10	10	A	継続	技能・技術の継承とともに技能者の優れた技を披露する場を提供する有用な事業であるため、事業の手法や周知方法など検討しながら継続して実施する。
						2	1	3	3				
				宮のものづくり達人派遣回数	回	78	78	78	78	78			
						68	75	76	83				

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績	実績			
5	伝統工芸品産業振興事業補助金	伝統工芸品産業振興推進協議会	H10	伝統工芸品展等の開催による作品のPR回数	回	3	3	3	3	3	A	継続	伝統工芸の技術・技能を保存・伝承し、後継者育成や販路拡大につなげるため、周知の手法について見直しを行うとともに、協議会に対しては、更なる事業展開を促すなど、積極的な支援に努める。
				伝統工芸品展等の入場者数	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000			
6	発明相談事業共催負担金	宇都宮商工会議所	H3	実施団体	団体	1	1	1	1	1	B	継続	中小企業の知的財産権の取得意欲を促進するため、商工会議所や栃木県発明協会と連携し、相談窓口の開催を継続していく。
						1	1	1	1	1			